

平成31年度 学校経営について

柏市立富勢小学校

1. 学校教育目標

自ら学び、心豊かに、夢を育む子供の育成

めざす児童像

やさしい子供

自分や友だちの良さを見つけ、相手の気持ちになって行動できる子供

かしこい子供

知識や経験を基に課題を解決しようとする子供

たくましい子供

健康や安全に関心を持ち、進んで体力づくりに励む子供

めざす学校像

- ・安心、安全、きれいな学校
- ・元気な挨拶と学ぶ喜びを育む学校
- ・地域に信頼され、親しまれる学校

めざす教師像

- ・子供に寄り添い、共に学ぶ教師
- ・専門職として切磋琢磨に努める教師
- ・信頼される教師

2. 経営の基本方針

☆3つの保障 児童へ … 安全・学習・人権

☆2つの指導 職員へ … 子供に寄り添う・準備に心がける

☆1つの約束 保護者・地域へ … 子供を共に育てる

☆これからの2年間

2019年 移行期最終年 中・外国語活動(35)高・外国語(70)

2020年 新学習指導要領実施 英語の教科化等

3. 経営の重点

- (1) 安心・安全な学校づくり
- (2) 自分を大事に思える子供を育てる取組の充実
- (3) 学ぶ意欲を引き出し、学習姿勢づくりをめざした指導の充実
- (4) 新学習指導要領に対応する富勢小教育課程の確立
- (5) 保護者や地域との連携・協働
- (6) 協働による全職員での学校づくり

4. 経営の努力事項

(1) 学年・学級経営の充実

- ① 学級編成実施後の児童理解に努め、家庭と連携・協働して児童に寄り添う。
- ② 学年全体の関わりとまとまりを重視しながら、学級経営を行う。
- ③ 学年主任がリーダーシップを発揮し、連携を図りながら学習指導や生徒指導に取り組む。

(2) 学習指導の充実

- ① 教科の基礎的、基本的な事項を明確にし、確実に定着させる。
- ② 学ぶ意欲を引き出すための指導方法の工夫（授業力向上研修による取組）と継続に努める。
 - ・低学年・計算領域における反復練習 「1コマ」の有効活用
 - ・3年生・ステップアップ学習会
 - ・高学年・県立柏高校生徒の協力による夏休み算数教室
 - ・外国語活動及び外国語の授業作り
- ③ 図書館指導員との連携による読書活動及びICT機器の活用を推進し、意欲的な学習姿勢づくりに努める。
- ④ 発達段階に応じた基本的な学習習慣や家庭における勉強の習慣を身につけさせる。（家庭学習の定着をめざした取組）
- ⑤ 外部講師を積極的に活用し、体験活動を重視する（キャリア教育の改善）。
- ⑥ 「富勢小学習スタンダード」づくりの取組（学習環境の工夫…黒板の使い方
- ⑦ プログラミング学習への取組

(3) 道徳教育の充実

- ① 研修を通じて授業改善に努め、職員全体の力量向上を図る。
 - ・学習スタイル（「他人事」から「自分事」をとらえる学習）を確立する。
- ② 教育活動全体を通して道徳的実践力をつけ、豊かな心の育成を図る。そのための具体的な取組を実践する。
 - ・「あじみ運動」の積極的な推進と効果的な取組の実践

(4) 特別支援教育の充実

- ① 特別支援教育及び特別支援学級への理解に努め、どの子も伸びる特別支援教育をめざす。
 - ・ユニバーサルデザインを考慮した教室環境づくり
- ② 特別支援学級と交流学級との連携を重視し、共通理解に努めながら児童と保護者に寄り添う。
- ③ 児童一人一人の発達課題を把握し、個別の指導計画や教育支援計画を作成し、活用する。
- ④ 特別支援教育コーディネーターをはじめ、スクールカウンセラーや教育研究所等の外部関係機関との連携を積極的に行う。

(5) 特別活動の充実

- ① 「**関わることでまとまりを生む**」**集団活動**を通して互いに認め合い、協力し合う、豊かな人間性を育む。
 - ・全体が集まった際の、**約束事の徹底と積極的にほめる取組**
- ② 児童の実態を踏まえ、学級活動、学校行事等のねらいが効果的に達成できるように、事前指導を行い、必要に応じて内容の見直し、改善を図る。

(6) 生徒指導・教育相談の充実

- ① 問題行動を自らが未然に防止することができる積極的な指導を、生徒指導主任中心に全教職員の共通理解のもとに推進していく。
 - ・「**報告・連絡・相談**」**体制の確立と組織的な対応**
 - ・「**あじみ運動**」の積極的な推進と効果的な取組の実践
 - ・効果的な「褒め方」と「叱り方」
- ② 児童理解に努めながら集団不適応やいじめ、不登校等の問題について、早期発見、早期対応に努める。また**教育相談体制の充実**を図る。(教育相談室の活用、教育相談への働きかけ、外部教育相談機関、スクールカウンセラーの活用等)
- ③ 学校、家庭、地域との連携をとり、健康的で健全な生活習慣を身につけさせる。

(7) 体育・保健・安全教育、食育の充実

- ① 学校教育全体を通じた体力向上のための活動や健康の増進に努める。
- ② **教科体育の充実(評価の工夫)**を図るとともに、安全配慮の徹底を図る。
- ③ 児童の「自分の命は自分で守る」意識を継続的に高めていく。
- ④ 児童が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、積極的に食育に取り組む。
- ⑤ 保護者と連携し、健康的な生活習慣や食習慣を育てる。
 - ・「**早寝・早起き・朝ご飯**」の推進

(8) 食物アレルギーへの取組の充実

- ① **定期的かつ継続的な職員研修**を実施する。
 - ・柏市「食物アレルギー対応の手引」をもとにした全体研修の実施
- ② 校長、教頭、栄養教諭(調理業者)、給食主任、学級担任、養護教諭、栄養教諭、学校医等による指導体制を整備しながら保護者や主治医との連携を図り対応する。
 - ・栄養教諭を中心としたチェック体制の確立

(9) 安全管理の徹底と危機管理体制の確立

- ① 安全な教育環境を整備し、事故の未然防止に努める。(安全点検とその結果に応じた安全対策)
- ② 校外学習や授業等児童が活動する場において適切な安全指導、安全配慮を行う。危険を予測し回避する能力の育成を図る。(予察、予備実験、事前指導、等)

- ③ 児童の「自分の命は自分で守る」意識を育みながら、**実効性のある訓練の実施**、**緊急対応マニュアルの点検・改善しながら有事に備える**。(地震・火災・事故・不審者・感染性胃腸炎、食物アレルギー、インフルエンザ等・・・)
- ④ 地域や保護者と連携した児童の交通安全・見守り活動を継続する。
- ⑤ **災害発生時の職員体制の見直し**

(10) 人権教育，命を大切にす教育，福祉教育，環境教育，キャリア教育等の充実

- ① 児童や環境の実態をいかし，学ぶ意欲を大切にしながら，教育活動全体を通して推進する。
- ② 「いじめは絶対に許さない」という**教育環境**を作り，家庭と連携して取り組む。

(11) 研修の充実

- ① **道徳研修と授業力向上研修**に取り組みながら，日常の授業を見直し，授業改善を図る。
 - ・「何のために」「何をするのか」「どのように行うのか」…**具体策の重視**
- ② 初任者研修や他経験者研修等を計画的，効果的に実施する。
- ③ 教育課題に応じた現職研修を積極的に実施する。
- ④ 必要に応じて各種研修会に参加し，視野を広げ，専門性を高める。

(12) 地域や保護者との連携の充実

- ① **コミュニティ・スクール**で富勢地域の資源を有効活用し，児童の成長につながる取組の実践や連携に努める。
 - ※**コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)**…学校と地域や保護者が共に知恵を出し合い，学校運営に意見を反映させることで，子供たちの豊かな成長を支え，「**地域と共にある学校づくりを進める取組**」
- ② 「**地域行事で子供を育てる**」意識を大切にし，積極的に活用していく。
- ③ 柏市「子育て広場」の活用により保護者の意識を高め，家庭教育の推進に努める。

(13) 教職員間の連携の充実

- ① **業務改善の取組**をさらに継続し，教職員の意識を高める。
- ② 不祥事を起こさない，起きない職場風土を作る。(モラルアップの推進，互いに声を掛け合う温かい職場づくり)
- ③ 気持ちの余裕につながるよう**ノー部活デー**，**ノー残業デー**の推進に努める。
 - ・**ノー部活デー** … (朝) 週始め (放課後) 水曜日・金曜日
- ④ 「**問題を一人で抱え込まない**」職員間の連携に努める。